

loghouse news



ご挨拶（日本ログハウス協会会長／中川信治）

新年明けましておめでとうございます。時代が大きく変わろうとしている2020年！現状維持では衰退の一途をたどってしまう、誰もが変わるしかないそんな時代の幕開けです。ログハウス業界も、それぞれの思惑を捨てて、今こそ「ONE TEAM」でこの変革期を、知恵と力で、乗り越えて行きたい！そんな思いです。
一般社団法人 日本ログハウス協会は「コンプライアンス」をしっかりと守って行く団体であり続けます。

Topics 1

令和2年度ログハウス建築コンテスト作品募集中

当協会が主催するログハウス建築コンテストは、日本国内で建築されたログハウス（丸太組構法及び丸太を多用して建築された建物）で建築技術、地域材利用等の点において優秀と認められたものを顕彰し、ログハウスの普及・発展を図り、木材需要の拡大、森林資源の循環的活用の促進による地球温暖化防止及び国民生活の向上に寄与することを目的としています。

応募書類受付締切：2020年4月17日（金）必着

*ログハウス設計コンペ部門については、

[参加登録期間] 2020年2月3日～4月10日

[作品提出期間] 2020年2月26日～4月17日

※応募要項は当協会のホームページをご覧頂くか、お問い合わせください。

応募用紙は、当協会のホームページからもダウンロードできます。

※受賞者の発表及び表彰は、2020年6月9日（火）一般社団法人日本ログハウス協会の令和2年度通常総会会場で行います。なお、発表は当協会ホームページでも行います。



Topics 2

2/20（木）大阪にて西日本支部会を開催します

当協会西日本支部会を下記の通り開催致します。ふるってご参加くださいますようお願い致します。

<日時> 2020年2月20日（木） 支部会 13:00～ ※夕に親睦会を予定しています。

<場所> 越井木材工業株式会社 本社会議室（住所：大阪府大阪市住之江区平林北1-2-158）

<内容>

13:30～14:30 西日本支部会 14:30～15:30 ログハウス協会令和2年度事業説明会

15:30～16:30 越井木材工業株式会社 工場見学 17:00～ 親睦懇親会

Topics 3

建設キャリアアップシステムの本格運用始まる!

1.建設キャリアアップシステムとは

日本の建設業が将来にわたって、その重要な役割を果たしていくためには、現場を担う技能労働者（技能者）の高齢化や若者の減少といった構造的な課題への対応を一層推進し、建設業を支える優秀な担い手を確保・育成していく必要があります。そのためには、個々の技能者が、その有する技能と経験に応じた適正な評価や待遇を受けられる環境を整備することが不可欠です。

技能者の現場における就業履歴や保有資格などを、技能者に配布するＩＣカードを通じ、業界統一のルールでシステムに蓄積することにより、技能者の処遇の改善や技能の研鑽を図ることを目指す「建設キャリアアップシステム」の構築に向け、官民一体で取り組みを始め、平成31年4月、建設キャリアアップシステムの本格運用が始まりました。ログハウス協会も建築団体の一つとして参加をしてきました。カテゴリーは建築大工です。概要は表をご覧ください。複雑なシステムですが、簡単に掲げてみます。

- 建築技能者（現場で作業をする者）は、国のシステムに登録をしてカードを交付してもらう。

経験年数、資格等でカードの色が変わります。レベルは1から4まで。

- 現場に入場する際は、カードを現場においてカードリーダー等で読み取りをしてもらう。

- 作業終了時も同じようにカードリーダーで読み取りをする。

- 事業者自体、現場の登録等も必要です。

建設キャリアアップシステムの構築



- 「建設キャリアアップシステム」は、技能者の資格、社会保障加入状況、現場の就業履歴等を業界横断的に蓄積・蓄積する仕組み
 - システムの活用により技能者が能力や経験に応じた待遇を受けられる環境を整備し、将来にわたって建設業の担い手を確保
 - システムの構築に向け官民（※加団体：日建連、全建、建専連、全建連）等で検討を進め、平成31年1月以降システムを利用できる現場を限った「限定運用」を開始し、限定運用で蓄積した知見を踏まえ、平成31年度より「本運用」を開始予定
 - 運用開始初年度で1,000万人の技能者の登録、5年内で全ての技能者（3,300万人）の登録を目指す

建設キャリアアップシステムの概要



- | 1. 能力評価基準の策定主体 | |
|----------------|----------------|
| 一般社団法人 | JBN・全国工務店協会 |
| 全国建設労働組合総連合 | |
| 一般社団法人 | 全国住宅産業地域活性化協議会 |
| 一般社団法人 | 全国中小建築工事業団体連合会 |
| 一般社団法人 | 日本ツーバイフォー建築協会 |
| 一般社団法人 | 日本木造住宅産業協会 |
| 一般社団法人 | 日本ログハウス協会 |
| 一般社団法人 | プレハブ建築協会 |

2. ログハウス協会として

- ・業界8団体の一つとして、国から建築大工技能者の能力評価をすることが出来る団体となりました。

- ・最高ランクのレベル4になることが出来る登録其幹技能者講習団体に登録をされました

ログハウス協会で講習を単独で開催することが出来るようになりました

- ・認定ログビルダーの資格が上級技能者の一つである「レベル3」として認められました

詳しくは技術講習会等で皆様にご説明します

能力評価基準			
建築大工技能者の能力評価基準		接 続	
レベル	接 続	経 賦	経 賦
LEVEL 4 ブルーバーカード	<p>下記の一、二、三の資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ①社員登録大工師試験合格者 ②優秀施工者賞土木交通大臣顕彰(建設マスター) ③女子良職賞厚生労働大臣顕彰 ④卓越した技術者(代理の名)工名 ⑤技術グランプリ(金賞・銀賞・銅賞・奨励賞) ⑥レベル2、レベル3の資格 	就業日数 2,150日 (10年)以上	現共としての 就業日数 645日 (3年)以上
LEVEL 3 ブルーバーカード	<p>下記の一から二つ以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 1種又は2種建築大工技能士 ✓ 伴組合建築技士 ✓ 1種又は2種建築施工管理技士 ✓ 1種若しくは2種又は木造建築士 ✓ 職業訓練指導員 <p>(建築機械・伴組合建築機械・プレハブ建築物)</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 木材加工用機械等作業主任者技能講習 ✓ 建築機械の操作の組立て等作業主任者技能講習 ✓ 足場の組立て等作業主任者技能講習 ✓ 木造建築物の組立て等作業主任者技能講習 ✓ 青年優秀施設(著土地・建設事業局顕彰) ✓ プレハブ建築マイスター ✓ 認定グリッドマーク <p>レベル2の資格に示す條件有資格</p>	就業日数 1,505日 (7年)以上	職員または班長 としての 就業日数 109日 (6ヶ月)以上
LEVEL 2 ブルーバーカード	<p>中級 技能 能者</p> <ul style="list-style-type: none"> 丸の二等級取扱作業者安全衛生教育 足場の組立て等作業従事者特別教育又は足場の組立て等作業主任者技能講習 	就業日数 645日 (3年)以上	就業日数 645日 (3年)以上
LEVEL 1 ブルーバーカード	初級 技能 能者	建設キャリアアップシステムに技能者登録をされ、かつ、レベル2から4までの判定を受けていない技能者	

※1 ●印の保有資格については、いずれかの保有とする。

※2 建築大工技能士、建築施工管理、建築士の資格は、1級、2級等と複数を有しても上位資格1つと見なす。

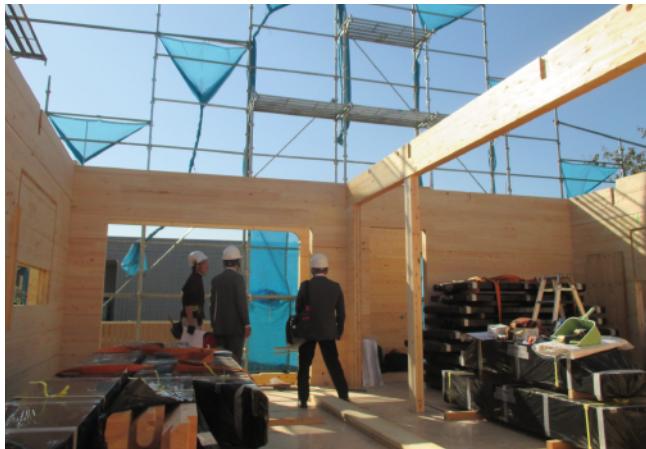
建設キャリアアップシステムの技能者登録を済ませたら、

申請書に必要事項を入力して能力評価実施機関へ申請

Topics 4

C L T ログハウス組上見学会が開催されました —平成 30 年サステナブル建築物先導事業（木造先導型）木造実験棟—

フェニックスホーム（埼玉県所沢市）は令和元年 11 月 5 日、横浜市保土ヶ谷区にて、C L T 材を用いたログハウスの現場見学会を開催した。これは、国土交通省の補助事業（2018 年度サステナブル建築物等先導事業・木造先導型）を受けて建築しているもので、基礎、土台、床、1 階部分の壁および 2 階床梁が組みあがった時点での公開となった。



2 階建て・延べ床面積 135.75 m² の規模を持ち、通常用いられるログ材に代わり、外壁には 120mm 厚のヒノキ C L T 材をレゾルシノール樹脂系接着剤と鋼製のダボクロスマーク金物 (D32) 計 14 本（一層辺り）で接合し、基礎とは通しボルトで接合する。またノッチなどを通しボルトで補強することで、耐震等級 3 相当の耐震性を確保している。

2 階床には厚さ 90mm × 幅 900mm のスギの C L T 材を使用し、断熱は床に厚さ 40mm のスタイロフォーム、屋根に高性能グラスウール 100mm 厚で施工する。

開口部（窓）はアルミ樹脂複合サッシにペアガラスを採用する。

通常のログハウスとは違い、壁を組み上げた後に開口部をくり抜いてサッシを設置するのもこの工法の特長で、現地では窓部分に掘り込みだけがあった。外壁仕上げは水性木材保護塗料で、「5 年に 1 度塗り直しをすると 100 年はもつ」とのこと。

この見学会には 15 名ほどが参加し、同社松下社長による説明のち、質疑に対しては個別に対応していた。なお、竣工は令和 2 年 1 月下旬を予定している。



発行

一般社団法人 日本ログハウス協会 事務局

TEL ■ 03-3588-8808 FAX ■ 03-3588-8829

東京都港区赤坂 2-2-19 アドレスビル 1F
Email ■ info@loghouse.jpn.com

<http://www.loghouse.jpn.com/>